



特定非営利活動法人
コミュニティワーク研究実践センター

2019年度 実績報告



NPO法人コミュニティワーク研究実践センター 2019年度事業成果について

【2019年度 事業目標】

- ①2020年度に向け、札幌及び空知エリアでの運営体制を見直す。
- ②自主財源を活かし、事業を拡大していく。
- ③部門間連携について検討する。

【事業成果】

①札幌及び空知エリアの運営体制を検討する。

⇒札幌エリア・空知エリア内において、拠点連携に取り組んできた。

札幌エリアでは、札幌運営会議(居住支援会議)を開催。

空知エリアでは、密な連携は難しかったが、日常的な情報交換や岩見沢事業所の会議に理事長が参加するなど、少しずつではあるが連携が生まれている。

令和2年度内を目標とし事業体制変更に向け動き始めることができた。

②自主財源を活かし、事業を拡大していく。

⇒チャレンジハウスプロジェクトの収入を活用した大きな事業拡大は難しかったが、

新たに部屋を6部屋借り上げたほか、クラウドファンディングを実施し、目標金額を達成。

若者が一人暮らしを体験できる部屋を2部屋確保できた。

③部門間連携について検討する。

⇒市民活動プラザ星園に、札幌エリアの事務所が集中していることから、部門間での情報共有・連携はできた。

また、運営会議をエリアにわけ、経営会議を新たに開始し、法人全体での事業運営について検討できる体制が整った。

定款の事業名：社会教育、まちづくり、芸術文化、スポーツ振興に関する各種事業

各種まちづくり

- 実施期間：2019年4月～2020年3月
- 実施場所：北海道内
- 受益対象者の範囲：広く一般市民
- 従事者人数：2名
- 支出額：10(千円)

○実施内容

①札幌市ホームレス相談支援センターパンフレット制作
札幌市ホームレス相談支援センタージョインのパンフレットの制作を行った。

②小物販売

制作した小物を、地域のイベントにて販売を行った。



相談 まずはご相談下さい
☎ 0120-887-860

総合相談窓口
相談員がお悩みをお聞きし、個々の状況や課題に応じた分室(シェルター)へおつなぎします。
行き場がないけど、どうしたらいいかわからないという方は、まずはお電話でお気軽にご相談ください。

サポートの流れ

- 1 緊急一時生活支援に関するご相談・予約申込
- 2 自立支援プランの作成・支援決定
- 3 支援プランに基づいたサポート・課題解決

シェルターの利用 ひとり一人に得意しながら個々の抱える課題解決(自立)に向けたサポートを行います。

分室(シェルター)一覧

<p>女性サポート アジール 実施団体：NPO法人女性サポート・Angel ☎ 011-299-5579 対象：女性 住居：ファミリー型(計画的予約) 就業：あり</p>	<p>バトサダ 実施団体：NPO法人自立支援事業センターバトサダ ☎ 011-716-5130 対象：男性 住居：共同生活型 就業：あり</p>
<p>みんなの広場 実施団体：NPO法人みんなの広場 ☎ 011-726-5020 対象：男性・女性 住居：ファミリー型(計画的予約) 就業：あり</p>	<p>コミュニティハウス「れおん」 実施団体：NPO法人コミュニティハウス「れおん」支援センター ☎ 011-676-9533 対象：男性・女性 住居：共同生活型 就業：あり</p>

シェルター利用中のサポート内容

<ul style="list-style-type: none"> ○住居の確保(保証書) ○就業支援(1日3食) ○相談・生活相談 ○入居後・就業後のサポート ○生活費の相談(食費・日用品・クリーニング)への補助や就業支援 ○就業機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活費(保証料・借費補助) ○生活費(食費・日用品・クリーニング) ○入居後・就業後のサポート ○生活費の相談(食費・日用品・クリーニング)への補助や就業支援 ○就業機会の提供
--	---

定款の事業名:コミュニティワークに関する各種モデル事業の実施

岩見沢市生活サポートセンターりんく①

- 実施期間:2019年4月～2020年3月
- 実施場所:岩見沢市
- 受益対象者の範囲:岩見沢市民
- 従事者人数:8名
- 支出額:40,539(千円)



まなび隊
社会科見学

○事業概要

生活困窮者に対して、総合相談窓口の設置すると共に、安心して過ごすことが可能な居場所の確保及び生活支援、就労支援を市内関係団体とネットワークを構築しながら一体的に実施した。

また、生活困窮者・被保護者の中で、就労支援を受ける段階前の者に対し、相談支援、就労準備プログラムを実施した。



たのしみ隊
運動プログラム

○新規相談者件数

性別	男性	女性	不明	合計
	74	79	19	172

年代別	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明
	3	16	15	24	19	16	16	63



ゆるりんく
アイヌ料理づくり

定款の事業名:コミュニティワークに関する各種モデル事業の実施

岩見沢市生活サポートセンターりんく②

○地域連携について

- ・いわみざわシティプロモーション“ザワーク”への参加
- ・岩見沢教育大あそびプロジェクトへの参加
- ・みる・とーぶとの協力
- ・まちなか朝市実行委員会
- ・栄通り商店街の役員会

まちなか朝市や商店街の実行委員会に、りんく職員が定期的に参加することで関係性を築き、イベント当日りんく利用者が参加する際の橋渡し役を担った。

また、事前準備から、職員だけでなく利用している方も参加し高い評価を受けていた。また、美流渡・朝日地区の地域おこし協力隊や市役所企画室と連携し、プログラムで遠足など実施。



岩見沢教育大
あそびプロジェクト



しごと見学隊(前野米店)



たのしみ隊でのみる・とーぶ遠足



りんくバンド「コルセッツ」
まちなか朝市でのライブ



パソコン隊での講座
(STデジタルワークス)

定款の事業名:コミュニティワークに関する各種モデル事業の実施

そらち生活サポートセンター

○自立相談支援事業(空知総合振興局・6市)

月形事業所内(そらち生活サポートセンター)を拠点に、空知管内6市14町の対象エリアにて相談を受け付けています。

◇特徴

「フリーダイヤル」と「訪問支援」「同行支援」「ジョブクラブ」

◇実績

全相談件数335件(内新規258件)

相談支援の結果:

就労者数41名・増収者数41名・借金滞納整理11名・住宅確保16名

○被保護者及び生活困窮者就労支援・就労準備支援事業(美唄市)

美唄市の生活保護受給者、そらサポ相談者の方を対象に、「就労」に向けて気持ちや体の準備を行うことを目的に、様々な作業体験を実施しています。

◇実績(*ジョブクラブ含む)

実施内容:羊毛フェルトづくり・団地清掃・羊の皮なめし・田植えごみ上げ・芋掘り・栄養セミナー

実施回数 67回 延参加者数 334人

○実施期間:2019年4月~2020年3月

○実施場所:空知管内の市・町

○従事者人数:6名



○受益対象者の範囲:14町6市

空知総合振興局(14町) 赤平・芦別・歌志内・滝川・三笠・美唄在住 の生活困窮者

○支出額 28,386(千円)

○家計相談支援事業(芦別市)

芦別市のそらサポ相談者の方を対象に、家計管理等の相談に対応しています。

◇実績 3名



栄養セミナー



芋掘り

定款の事業名：生活目的別課題に関する調査研究及びプログラム開発事業

月形事業所わくわーく（各種モデル事業）

- 実施期間：2019年4月～2020年3月
- 実施場所：月形町
- 対象者の範囲：①月形町民 ②生活困窮者
- 従事者人数：6名
- 支出額：719(千円)

○事業概要

月形町において生活困窮者や若者の共同生活住宅「樺月荘」を設置し、生活支援をおこなう行う。同住宅を拠点に地場産業（農業・観光・製造）と連携し、就労訓練・短期就労機会を提供した。また、地域おこし関係者・福祉団体と連携した各種祭りやイベントを企画・運営・実施した。

◇実績

- ①生活支援+(相談:そらサポ)
樺月荘:6名入居中・地下の改装もほぼ完成



樺月荘 改装パーティー



樺月荘 年越し

- ②地域づくり
月形町の祭りに参加
(夏祭り・金魚祭り・漬物祭り)

スペースわくわーくを拠点に交流会、有償就労体験・学生ゼミ受け入れ、農業体験を実施しました。

今年は
猫も相談に
訪れる



定款の事業名:コミュニティワークに関する各種モデル事業の実施

札幌市生活困窮者支援事業

～札幌市ホームレス相談センター分室「コミュニティハウスれおん」～

- 実施期間:2019年4月～2020年3月
- 実施場所:札幌市
- 受益対象者の範囲:家のない、家を失う恐れのある生活困窮者
- 受益対象者人数
- 従事者人数:3名
- 支出額:15,703(千円)

○事業概要

生活困窮者に対しての自立に向けた相談支援や衣食住の提供により、相談者の自立と尊厳を確保する。

○実施内容

札幌市内における、家のない生活困窮者等を対象に札幌市ホームレス相談支援センター事業を受託し実施。一時的な居住場所の提供、身分証明書・住民票の復活・生活保護の申請・居宅確保などを行った。

また、必要に応じ障がい者手帳の取得や必要なサービスにつなげるなど 社会資源との繋ぎ等を行い、失った生活を立て直す支援を行った。

この他、他のジョイン構成団体とともに、札幌市中心部で生活相談会や巡回相談も実施した。



- 一時生活支援事業総宿泊数
1,368泊

- 一時生活支援事業利用者数

男性	女性	合計
16	15	31

定款の事業名:コミュニティワークに関する各種モデル事業の実施

コミュニティハウス「れおん」事業

○実施期間:2019年4月～令和2年3月

○実施場所:全国

○受益対象者の範囲:①地域住民 ②支援団体 ③生活困窮者

○従事者人数:1名

○支出額:117(千円)

○事業内容

新たな居住支援事業を準備するため、職員を先進地に派遣。

日常生活支援住居施設や居住支援法人、生活困窮者支援事業等の情報収集を行った。

視察地域:東京・名古屋・仙台・大阪・北九州



定款の事業名:コミュニティワーク支援に関する施設の管理及び運営事業

市民活動プラザ星園

- 実施期間: 2019年4月～2020年3月
- 実施場所: 市民活動プラザ星園 および札幌市内
- 受益対象者の範囲: 一般市民及び市民まちづくり活動団体
延べ97,836名 (昨年度 97,618名)
清掃訓練参加者 上半期: 女性3名/男性3名 下半期: 女性1名/男性5名
- 従事者人数: 3名(正職員)3名(パート職員)
- 支出額: 24,830(千円)

○事業概要

- ・市民活動プラザ星園の管理運営を実施。
- ・市民まちづくり活動団体の育成支援や、入居団体と協働した地域向け事業等を展開。
- ・生活困窮者・被保護者向け就労準備支援、を実施。

○事業実施の成果

- ・HPをリニューアルしネット上で貸室空き状況の確認ができるようになった。
(貸室利用1445件・420万円程度/前年度1401件・440万円程度)
- ・入居団体や一般貸室利用団体からの要望に応え、館内に物置スペースを新たに作り、毎月の固定収入が増額した。
(現時点で6団体利用、月收入4万5千円程度)
- ・令和2年度5月から新たに405号室の空きスペースを活用し新規団体募集を行うこととした。
(5月時点で入居が決まり、入居団体は18団体・シェア団体9団体、月收入155万程度)
- ・館内老朽化による設備不調が多く、札幌市への連絡報告が一層増えた一年となった。
(星園負担6件9万円程度・札幌市負担6件60万程度)

○今後の課題

新型コロナウイルスによる2・3月貸室キャンセルは100件、返金額15万程度。
2020年4月以降も貸室使用中止が続いているが、今後の、貸室減額分の収入補填方法を検討しなければならない。
星園カフェは2020年3月～5月までの中止としているが、再開の目途は立たない。



定款の事業名：生活目的別課題に関する調査研究及びプログラム開発事業

チャレンジハウスプロジェクト

- 実施期間：2019年4月～2020年3月
- 実施場所：札幌市内
- 受益対象者の範囲：①生活困窮者 ②被保護者 ③地域住民及び団体
- 受益対象者人数：16名(男性15名・女性1名)
- 従事者人数：7名
- 支出額：7,554(千円)

○事業概要

住居喪失者及び生活支援が必要な方に対し、衣食住を提供し、自立に向けた支援を実施した。
(支援付き住宅)



定款の事業名：生活目的別課題に関する調査研究及びプログラム開発事業

居住支援法人

- 実施期間：2019年4月～2020年3月
- 実施場所：札幌市・岩見沢市・三笠市・美唄市・月形町
- 受益対象者の範囲：住宅確保要配慮者
- 受益対象者人数：112名
- 従事者人数：11名
- 支出額：5,779(千円)

○事業概要

札幌地区・空知地区に窓口を設置し、住宅確保要配慮者の抱える生活課題を整理、支援方針を明らかにすることで、円滑な入居につなげる。入居後は課題を解決し、生活破綻を防止する。

①入居前支援(入居相談81名・住宅確保42名)

入居相談窓口の開設／不動産情報の収集と情報提供／不動産会社への同行
生活課題の整理と支援方針の共有

②入居後の支援(67名)

自宅への訪問／生活困窮者自立相談支援事業との連携／各種機関への同行
金銭管理・家賃支払い等援助／サブリース住宅の提供／居場所づくり(共同リビング)

③家賃債務保証の相談(家賃債務保証利用13名)



困窮する若者の生活支援・住宅確保総合支援事業

- 実施期間：2019年4月～2020年3月
- 実施場所：北海道内（主に札幌市）
- 受益対象者の範囲：
 - ・15歳～39歳までの住居・生活環境・生活習慣に課題を抱える若者
 - ・不動産会社・保証会社・管理会社・家主・支援団体・自治体職員等
- 受益対象者人数：
 - ・ユースハウスナビ相談者：62名
 - ・ユースサポートハウス利用述べ人数：1,050名
 - ・夕食会参加者：2,027名
 - ・不動産会社・保証会社・管理会社・家主・支援団体を対象とした研修会：140名
- 従事者人数：6名
- 支出額：9,376（千円）

○事業概要

①ユースハウスナビ事業

- ・若者向けの入居支援及び入居後の見守り、相談支援事業を実施した。
- ・未成年向け住宅確保サービス（成人するまでの期間、手数料をとらず法人がサブリースする）

②ユースサポートハウス

- ・居宅場所を提供し、生活習慣の改善・一人暮らしに向け、段階的な生活訓練・就労支援を実施。
- ・多様な経験・世代との交流するため夕食会を週3回開催した。

③不動産会社・保証会社・支援団体等を対象とした研修会

不動産会社・保証会社・支援団体の職員を対象に、住居確保が難しい若者の状況・背景・制度について学び、情報を共有する、研修会を開催した。空知地区では、不動産会社管理部門向けインタビューを実施した。



定款の事業名：生活目的別課題に関する調査研究及びプログラム開発事業

若者に安心して失敗できる一人暮らしを提供したい (一人暮らし体験事業)

- 実施期間：2019年9月～2020年3月
- 実施場所：札幌市
- 受益対象者の範囲：
15歳～39歳までの住居・生活環境・生活習慣に課題を抱える若者
- 受益対象者人数：
一人暮らし体験事業参加人数：2名（358泊）
- 従事者人数：6名
- 支出額：1,003（千円）

○事業概要

READYFORにて、クラウドファンディングを実施。
121名の方からの支援を受け若者が安心して失敗できる一人暮らしの場を提供した。

20代前半の若者が参加し、1名は正社員に採用が決定。
1名は途中、離職する時期もあったが、就職活動を懸命に行い、就職。
また、支援者向けの向けの夕食会を開催し、2名の支援者が参加した。

※本事業は、2020年6月末を持って終了する。



定款の事業名:コミュニティワークに関する各種モデル事業の実施

中間的就労

- 実施期間:2019年4月～2020年3月
- 実施場所:札幌市及びその周辺地域
- 受益対象者の範囲:①生活困窮者
②札幌市及びその近郊の地域住民及び団体
- 従事者人数:3名
- 支出額:29(千円)

○事業概要

即時一般就労が困難な生活困窮者に対し、有償の職業体験を実施する。

また、個々のニーズ合わせた有償トレーニングを企業及び地域住民らと協働で行い、就労意欲の喚起及び自信回復を図る。

・自転車修理、イルミネーション設置作業、広報いわみざわ配布等の作業を実施した。



広報岩見沢
折り込み作業

そだちの杜①

○実施期間：2019年4月～2020年3月

○支出額：16,260（千円）

○事業概要

子育て中の親子を対象に札幌市内の児童会館12館で子育て支援事業を実施。
子育てLINE相談を受託（2020年1月～3月）

【子育てサロン】 ※3月は新型コロナ蔓延のため、子育てサロン事業は中止

◆実施場所：札幌市内児童会館（12カ所）

◆参加人数：年間利用者数親子 16,379組／延べ利用者数 36,319名）

◆受益対象者の範囲：子育て中の親と就学前の乳幼児

◆従事者人数：40名

①これまでの札幌市との委託契約から、活動協会との契約に変更になり、4ヶ所（桑園、柏丘、青葉、天神山）増えた。

②お家で出来る遊びの紹介（北海道新聞、NHKで紹介）

③独自の子育てサロン体操

（子ども中心の体操から親のストレス、セルフケアにつながる内容）をサロン利用者による作曲で作成

④これまでの子育てサロン目標に「認め合い」を追加し、親同士が互いの能力、才能を認め合うことの必要性を伝える。

⑤事業「心地よいだっこのお話」をNPO実施館以外の児童会館15ヶ所で実施

⑥職員研修の充実…子育て支援講座（2回）、救命救急、職員のセルフケア

ちびっこ広場
（桑園）



だっこ講
（八軒）

北海道
新聞



そだちの杜②

【子育てLINE相談】

- ①公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会と共催で委託事業として、
2020年1月～3月まで実施。
登録60組／相談件数22件

コロナにより、外出自粛、子育てサロンが中止になり、家庭内で出来る遊びの紹介、子どもの発達についての相談の他、ストレスから子育ての協力について、夫婦関係など多岐にわたる。具体的に子どもと利用できる場所を知りたいという具体的な相談もあった。



【外部事業への協力】

- ①学童における感染予防教育の運営補助業務
- ②エルプラザ情報センター共催で「親子ふれあいセミナー」実施



子育て支援講座



心地よいだっこのお話



救急救命JCHO北辰

定款の事業名:コミュニティワークに関する情報収集・発信事業

全国組織とのネットワークづくり事業

○実施期間:2019年4月～2020年3月

○実施場所:日本

○受益対象者の範囲

①若者

②ホームレス

③生活困窮者

④住宅確保要配慮者

⑤全国組織加盟団体

○従事者人数:10名

○支出額:792(千円)

○事業概要

- ・JYCフォーラムの運営及び研修会への参加、
- ・生活困窮者自立支援全国ネットワークへの参加
- ・全国ホームレス支援ネットワーク総会への参加など
- ・全国居住支援法人協議会の北海道幹事団体としての参加及び講師派遣
- ・居住支援全国ネットワーク会議への参加
- ・各種調査研究事業への検討会への参加及び実施協力

